2018年度 修了

〈非モテ〉に悩む男性の体験世界の探求
― 男性の語り合いグループの実践から ―

立命館大学大学院
応用人間科学研究科
臨床心理学領域
西井　開

本研究は，恋人がいないなどの性的な不満を表明する〈非モテ〉男性の苦悩に焦点を当て,彼らの聞き取りを行うことで,どういう苦悩を抱えているかを明らかにすることを目的とした。〈非モテ〉男性同士の語り合いグループを立ち上げ，そこで語られた内容を M-GTA による分析を試みたところ，以下のことが明らかになった。

まず,〈非モテ〉男性は「自分は一人前の人間ではない」という感覚を抱いており，それは「多数派集団からの疎外感」を引き起こす。さらに，彼は周囲からいじめやパワハラ，虐待を受けていることや，切実な孤独感を抱いていることも見えてきた。そのような状況下で,〈非モテ〉男性は自分に優しく関わってくれる女性を神聖視し始め，その人と交際することで現在の不遇な状況を挽回できるのではないかと考える。彼は，アニメや漫画などのフィクションを参照しながら相手にアプローチするのだが，それは配慮に欠けた一方的なものであり，行動は徐々に過激になっていく。相手を追いかけまわすなどのストーカー行為を繰り返し，拒否された〈非モテ〉男性はさらに自己否定を深めることになる。

以上の分析から,〈非モテ〉男性の苦悩とは，性的な不満だけではなく,「被害経験を通じて劣等感や疎外感を抱き，周囲の影響を受けながら女性に執着するようになり，その行為の罪悪感と拒否された挫折から更なる自己否定を深めていく一連のプロセス」として描き出すことが可能となった。